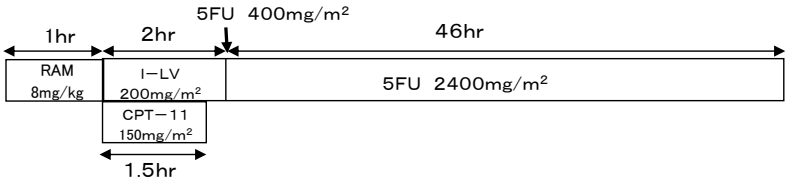
担当医/指導医	/
目的	□ 積極的治療　□ 症状緩和 □ 術前補助　□ 術後補助
告知程度	□全告知　□部分告知　□未告知
告知内容	□ 癌（ 原発 ・ 再発 ・ 進行 ） □ 抗癌剤を使用する
服薬指導	□ 依頼する 看護師（　　）　薬剤師（　　）
HBV感染スクリーニング	□ 確認済み

身長:　　cm	体重:　　Kg
体表面積	m^2

大腸癌　FOLFIRI+サイラムザ併用療法　（インフューザーポンプ使用）



1コース　2週間

投与開始日　　年　　月　　日　　クール予定

● サイラムザ　8mg/kg　投与量:　　mg　抜き取り量:　　mL
（RAM：一般名:ラムシルマブ、 商品名:サイラムザ）

＜体重あたりの換算式＞　抜き取り量（ｍＬ）＝体重（kg）× $\frac{8\ (mg/kg)}{10\ (mg/mL)}$

● レボホリナート　200mg/m^2　計算量:　　mg　投与量:　　mg

● CPT−11　150mg/m^2　計算量:　　mg　投与量:　　mg
（CPT−11：一般名イリノテカン、商品名カンプト）

● 5−FU（急速静注）　400mg/m^2　計算量:　　mg　投与量:　　mg

● 5−FU（持続静注）　2400mg/m^2　計算量:　　mg　投与量:　　mg
（5-FU：一般名フルオロウラシル、商品名フルオロウラシル）

【投与スケジュール】

Day1～3

30分	1） パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg/50mL　1V デキサート　1．65mg　5A ポララミン　5mg　1A	
投与時間は下記を参照	2） 生食　250mL　1V サイラムザ　（　　）mg	全量250mLになるように、生食の量を調節
15分	3） 生食　50mL　1V	《４−1)と4−2)は同時に投与》
90分	4-1） 5%TZ　250mL　1V ブスコパン　20mg　1A カンプト　（　　）mg	2時間 4-2） 5%TZ　250mL　1V レボホリナート　（　　）mg
		全開 5） 生食　30mL bolus5−FU　（　　）mg
インフューザー46時間	6） 生食　100mL　2V 5−FU　（　　）mg 7）ﾍﾊﾟﾘﾝNaﾛｯｸ用10単位/mLｼﾘﾝｼﾞ10mL　1A	全量230mLになるように、生食の量を調節

【Day2～3の内服薬】※症状に応じて省略可

Day2～3	デカドロン（4mg）	1錠	分1 朝食後	2日間

★ 専用の点滴セットを使用すること。
（サイラムザ:0.2又は0.22ミクロンのフィルター付き点滴セット）

★ サイラムザは、初回投与時は60分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。